

産業廃棄物焼却施設における焼却灰の放射能濃度の測定結果について

- ・ 試料採取年月日：平成23年7月19日（火）
- ・ 測定年月日：平成23年7月19日（火） 飛灰（当栄ケミカル（株））
- ・ 測定年月日：平成23年8月1日（月） 飛灰（直富商事（株）、（有）マツザカ）
- ・ 測定年月日：平成23年8月7日（日） 主灰（直富商事（株）、（有）マツザカ）
- ・ 測定機関名：長野県環境保全研究所

1 測定結果

業者名	所在地	測定対象	測定結果（単位：Bq/kg）			
			ヨウ素 -131	セシウム -134	セシウム -137	セシウム 合計
当栄ケミカル(株) 長野工場	長野市豊野町	飛灰 (注)	不検出	不検出	不検出	不検出
直富商事（株）	長野市篠ノ井	飛灰 (注)	不検出	44	68	112
（有）マツザカ	長野市篠ノ井	飛灰 (注)	不検出	240	290	530
直富商事（株）	長野市篠ノ井	主灰 (注)	不検出	不検出	不検出	不検出
（有）マツザカ	長野市篠ノ井	主灰 (注)	不検出	110	110	220

（注）飛灰とは、フィルターなどで捕集した排ガス中に含まれているダスト（ばいじん）のことをいい、主灰とは、燃えがらのことをいいます。

なお、当栄ケミカルの焼却施設は、流動床式焼却炉なので、主灰（燃えがら）の排出はありません。

2 調査の経過

本調査は、長野県が環境省の要請（平成23年7月5日付け事務連絡）を受けて実施するため、長野市においても長野県と同様に実施したものです。